

## 執筆者・引用／参考文献一覧

<b>单元名</b>	危機的状況－失業－
<b>該当ページ</b>	3～8ページ
<b>執筆者</b>	能見 一修
<b>引用した 図版・資料等 の出典</b>	<p>&lt;労働を取り巻く社会のしくみ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険労務士法人淀川労務協会ウェブサイト HOME &gt; 人事労務サポート &gt; 人事労務の書式集 (<a href="http://www.yodogawaroukyou.gr.jp/wordpress/wp-content/uploads/pdf/collection/koyoukeiyakusyo_syain.pdf">http://www.yodogawaroukyou.gr.jp/wordpress/wp-content/uploads/pdf/collection/koyoukeiyakusyo_syain.pdf</a>) より、2013年10月18日引用。</li> <li>・資料①：「2008年第16回『勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート』調査」公益財団法人 連合総合生活開発研究所ウェブサイト (<a href="http://www.rengo-soken.or.jp/report_db/file/1229061973_a.pdf">http://www.rengo-soken.or.jp/report_db/file/1229061973_a.pdf</a> 基礎クロス集計表 p.22) より 2013年10月18日引用。</li> <li>・資料②：「1998-1999年実施『企業実務における労働法実施状況調査』（村中孝史/Th・トーマンドル編著『中小企業における法と法意識——日欧比較研究』京都大学学術出版会、2000年のデータよりグラフ化）</li> <li>・資料③：村中孝史「講演『企業実務における労働法の意義』『産大法学』41巻4号、2008年より引用。</li> </ul> <p>&lt;労働問題にいかにして立ち向かうか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道労働委員会啓発映像 「どうする？あなたの身近な労使トラブル」－北海道労働委員会の役割－、チャプター3 労働争議の調整～毛利さんの場合～ (<a href="http://www.youtube.com/watch?v=UhhZgsfujjQ&amp;feature=BFa&amp;list=PLDDE872AD05F5DD09&amp;lf=player_detailpage">http://www.youtube.com/watch?v=UhhZgsfujjQ&amp;feature=BFa&amp;list=PLDDE872AD05F5DD09&amp;lf=player_detailpage</a>) より、2013年10月18日引用。</li> <li>・北海道労働委員会啓発映像 「どうする？あなたの身近な労使トラブル」－北海道労働委員会の役割－、チャプター4 個別的労使紛争のあっせん～近藤さんの場合～ (<a href="http://www.youtube.com/watch?v=UhhZgsfujjQ&amp;feature=BFa&amp;list=PLDDE872AD05F5DD09&amp;lf=player_detailpage">http://www.youtube.com/watch?v=UhhZgsfujjQ&amp;feature=BFa&amp;list=PLDDE872AD05F5DD09&amp;lf=player_detailpage</a>) より、2013年10月18日引用。</li> <li>・資料①：「雇い止め無効の審判」朝日新聞 2009年9月4日より引用。</li> <li>・資料②：「田井自動車に暫定支給勧告」朝日新聞 2013年2月1日より引用。</li> <li>・資料③：「雇用関係のトラブル 裁判所で解決するには？」裁判所裁判手続 民事事件 Q&amp;A 「個別労働紛争を解決するために利用できる手続には、労働審判手続のほかに、どのようなものがありますか。」 (<a href="http://www.courts.go.jp/saiban/qa_minzi/qa_minzi_58/index.html">http://www.courts.go.jp/saiban/qa_minzi/qa_minzi_58/index.html</a>) より、2013年10月18日引用。</li> <li>・資料④：「知って役立つ労働法——働くときに必要な基礎知識——」厚生労働省ウェブサイト ホーム &gt; 政策について &gt; 分野別の政策一覧 &gt; 雇用・労働 &gt; 労働政策全般 &gt; 知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識 (<a href="http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouseisaku/dl/roudouhou.pdf">http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouseisaku/dl/roudouhou.pdf</a>) より 2013年10月18日引用。</li> </ul>
<b>主要参考資料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水町勇一郎『労働法入門』岩波書店、2011年。</li> <li>・水町勇一郎『労働法〔第4版〕』有斐閣、2012年。</li> <li>・村中孝史/Th・トーマンドル編著『中小企業における法と法意識——日欧比較研究』京都大学学術出版会、2000年。</li> <li>・森戸英幸『プレップ労働法〔第3版〕』弘文堂、2011年。</li> <li>・労働判例百選〔第8版〕有斐閣、2009年。</li> </ul>

<b>单元名</b>	危機的状況－冤罪－
<b>該当ページ</b>	9～14ページ
<b>執筆者</b>	若原 崇史
<b>引用した 図版・資料等 の出典</b>	<p>&lt;冤罪を取り巻く社会のしくみ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(特捜部 崩れた威信 厚労省元局長無罪：上) 虚構が奪った454日 郵便不正事件」, 朝日新聞 2010年9月11日朝刊より引用。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周防正行監督「それでもボクはやっていない」, 2007年, 日本。</li> <li>・資料①: 「通常逮捕のための逮捕状」, 逮捕令状問題を考える会 (<a href="http://www2s.biglobe.ne.jp/~reijo/data/syosiki/taiho.html">http://www2s.biglobe.ne.jp/~reijo/data/syosiki/taiho.html</a>) より, 2013年10月14日引用。</li> <li>・資料②: 「逮捕状・勾留状の請求と却下(2007年)」, 木佐茂男ほか5名, 『テキストブック 現代司法(第5版)』日本評論社, 2009年, p.131より一部改変。</li> <li>・資料③: 「留置場の扉の内部とそこでの生活を描いた図」, 矢田部孝司, 矢田部あつ子, 『お父さんはやってない』太田出版, 2006年, p.33より引用。</li> <li>・資料④: 「甲山事件の25年を語る: 上【大阪】」, 朝日新聞 1999年10月14日朝刊より引用。</li> </ul> <p>＜冤罪にいかにして立ち向かうか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料①: 「弁護士の見つけ方」, アトム東京法律事務所 (<a href="http://www.jikobengo.com/riten4.html">http://www.jikobengo.com/riten4.html</a>) より, 2013年10月14日引用。</li> <li>・資料②: 「当番弁護士制度」, 島根県弁護士会 (<a href="http://www.shimabben.com/66.html">http://www.shimabben.com/66.html</a>) より, 2013年10月14日引用。</li> <li>・資料③: 「被疑者ノート」, 日本弁護士会 (<a href="http://www.nichibenren.or.jp/library/ja/legal_aid/on-duty_lawyer/data/higishanote_000.pdf#search=%E8%A2%AB%E7%96%91%E8%80%85%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%88">http://www.nichibenren.or.jp/library/ja/legal_aid/on-duty_lawyer/data/higishanote_000.pdf#search=%E8%A2%AB%E7%96%91%E8%80%85%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%88</a>) より, 2013年10月14日引用。</li> <li>・資料④: 「取調べの録音・録画の試行状況(イメージ)」, 捜査手法, 取調べの高度化への取組—警察庁, <a href="http://www.npa.go.jp/hakusyo/h24/honbun/html/ot100000.html">http://www.npa.go.jp/hakusyo/h24/honbun/html/ot100000.html</a> より, 2013年10月14日引用。</li> <li>・資料⑤(左側): 「『可視化は裁量』に紛糾 法制審部会の基本構想案 『捜査当局の焼け太りだ』」, 朝日新聞 2013年1月19日朝刊より引用。</li> <li>・資料⑤(右側): 「取調べ可視化, 捜査側寄りと批判 法制審部会『原則と例外逆転』」, 朝日新聞 2013年6月15日朝刊より引用。</li> </ul>
<p>主要参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗野仁雄『「この人, 痴漢!」と言われたら—冤罪はある日突然あなたを襲う』中央公論新社, 2009年。</li> <li>・白井滋夫『基本と実務 刑事訴訟法入門』東京法令出版, 1995年。</li> <li>・浜田寿美男『自白の心理学』岩波書店, 2001年。</li> <li>・安富潔『刑事訴訟法』三省堂, 2009年。</li> <li>・周防正行監督, 映画「それでもボクはやってない」, 2007年, 日本</li> </ul>

<p>単元名</p>	<p>危機的状況—いじめ—</p>
<p>該当ページ</p>	<p>15～20ページ</p>
<p>執筆者</p>	<p>岡田 了祐</p>
<p>引用した 図版・資料等 の出典</p>	<p>＜いじめを取り巻く社会のしくみ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【「いじめと生きる」 第1部・ドラえもんのいない世界で 流される=しずかちゃんもただ見てるだけ」中日新聞 2007年1月3日より引用。</li> <li>・鈴木翔 解説 本田由紀『教室内(スクール)カースト』光文社新書, 2012年。</li> <li>・資料①: 藤子・F・不二雄『ドラえもん』第36巻, 小学館, 1986年, pp.115-116より抜粋。</li> <li>・資料②: 藤子・F・不二雄『ドラえもん』第15巻, 小学館, 1978年, p.117より抜粋。</li> <li>・資料③: 鈴木翔 解説 本田由紀『教室内(スクール)カースト』光文社新書, 2012年, p.178, 181, 185, 186より抜粋。</li> </ul> <p>＜いじめにいかにして立ち向かうか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「船橋市立御滝中学校 カウンセリング室」 (<a href="http://www.city.funabashi.chiba.jp/gakkou/0002/otaki-j/0003/p014960.html">http://www.city.funabashi.chiba.jp/gakkou/0002/otaki-j/0003/p014960.html</a>) より, 2013年10月28日閲覧。</li> <li>・資料①: 藤子・F・不二雄『ドラえもん』第36巻, 小学館, 1986年, p.52より抜粋。</li> <li>・資料②: 内藤朝雄『いじめの構造 なぜ人が怪物になるのか』講談社, 2009年, p.199より引用(一部修正)。</li> <li>・資料③: 「子どもと弁護士 共演20作」朝日新聞 2013年8月27日夕刊より抜粋(一部修正)。</li> <li>・資料④: 「学校に警察が入るなんて いじめ 先生は隠していた」読売新聞 2012年7月12日夕刊。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料⑤：「いじめ生徒の出席停止 大阪府教委 制度の活用検討」日本経済新聞 2012年7月20日夕刊。</li> </ul>
主要参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴木翔 解説 本田由紀『教室内（スクール）カースト』光文社新書、2012年。</li> <li>内藤朝雄『いじめの構造 なぜ人が怪物になるのか』講談社、2009年。</li> <li>森口朗『いじめの構造』新潮社、2007年。</li> <li>森田洋司・清永賢二『いじめ 教室の病い』金子書房、1986年。</li> <li>森田洋司『いじめとは何か 教室の問題、社会の問題』中公社、2010年。</li> </ul>

単元名	危機的状況－DV－
該当ページ	21～26ページ
執筆者	横山 千夏
引用した 図版・資料等 の出典	<p>&lt;デートDVを取り巻く社会のしくみ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料①：「デートDVにおける暴力の例」良香織・小堀尋香『デートDVの現状と課題 一大学生を対象とした調査から』宇都宮大学教育学部紀要第63号、2013年、p.p.211-219より一部改変。</li> <li>資料②：「ジェンダー・バイアスの例」山口のり子『デートDV防止プログラム実施者向けワークブック』梨の木舎、2003年、pp.38-39を参考に作成。</li> <li>資料③：「デートDVの被害経験」内閣府男女共同参画局『男女間における暴力に関する調査報告書&lt;概要版&gt;』2012年、p.6より引用。</li> <li>資料④：「交際相手から初めて被害を受けた被害者はどうしたか」内閣府男女共同参画局『男女間における暴力に関する調査報告書&lt;概要版&gt;』2012年、p.7より引用。</li> </ul> <p>&lt;デートDVにいかにして立ち向かうか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「デートDV防止へ冊子」、日本経済新聞 2012年10月23日より引用。</li> <li>資料①：「デートDVを題材にしたテレビドラマ」浅野妙子脚本『ラスト・フレンズ』、フジテレビ、2008年。</li> <li>資料②：「交際相手からの被害の相談先」内閣府男女共同参画局『男女間における暴力に関する調査報告書』2012年、p.45より引用。</li> <li>資料③：「ストーカー規制・DV防止 改正法成立」、日本経済新聞 2013年6月26日夕刊より引用。</li> </ul>
主要参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊田広行『デートDVと恋愛』大月書店、2010年。</li> <li>柏木恵子（編著）『よくわかる家族心理学』ミネルヴァ書房、2010年。</li> <li>小泉奈央・吉武久美子『青年期男女におけるデートDVに関する認識についての調査』純心現代福祉研究No.12、2008年。</li> <li>蓮井江利香『デートDVの防止教育に関する研究の展望』広島大学大学院心理臨床教育研究センター紀要第10巻、2011年。</li> <li>山口のり子『デートDV防止プログラム実施者向けワークブック』梨の木舎、2003年。</li> </ul>

単元名	危機的状況－貧困－
該当ページ	27～32ページ
執筆者	藤田 雅幸
引用した 図版・資料等 の出典	<p>&lt;貧困を取り巻く社会のしくみ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「労働政策研究・研修機構－ユースフル労働統計 2012 労働統計加工指標集－」p.242 (<a href="http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/documents/21_p241-279.pdf">http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/documents/21_p241-279.pdf</a>) より、2013年10月17日引用。</li> <li>資料①：「初年度納付金の平均額」、BENESSE@マナビジョン 保護者版 (<a href="http://manabi.benesse.ne.jp/parent/okane/hiyou/hiyou_02.html">http://manabi.benesse.ne.jp/parent/okane/hiyou/hiyou_02.html</a>) 2013年10月17日引用。</li> <li>資料②：「生涯賃金の違い」、週刊東洋経済、「2007年5月19号、未来時給」より引用。</li> <li>資料③：「大阪在住のAさんの月の家計の内訳」、執筆者作成。「母子手当」(<a href="http://母子手当.com/">http://母子手当.com/</a>) の計算を引用。</li> <li>資料④：「母子世帯の母の年間就労収入の割合」、子ども格差の現状 (<a href="http://research.goo.ne.jp/database/data/000918/">http://research.goo.ne.jp/database/data/000918/</a>) より2013年10月17日引用。</li> <li>資料⑤：「養育費の受け取りの状況」、離婚前に決めておくこと、養育費について (<a href="http://www.youiku-hi.com/youikuh/">http://www.youiku-hi.com/youikuh/</a>) より、2013年10月17日引用。</li> </ul> <p>&lt;貧困問題にいかにして立ち向かうか&gt;</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奨学金滞納の記事」, 朝日新聞 2013年6月29日朝刊より引用。</li> <li>・「子どもの貧困対策法」, 衆議院「子どもの貧困対策法のポイント」。 (<a href="http://www.shugiin.go.jp/itdb_annai.nsf/html/statics/housei/pdf/183hou19siryou-a.pdf/\$File/183hou19siryou-a.pdf#search='%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E5%AF%BE%E7%AD%96%E6%B3%95'">http://www.shugiin.go.jp/itdb_annai.nsf/html/statics/housei/pdf/183hou19siryou-a.pdf/\$File/183hou19siryou-a.pdf#search='%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E5%AF%BE%E7%AD%96%E6%B3%95'</a>) より, 2013年10月17日引用。</li> <li>・資料①:「就学補助制度による補助対象品目」, 文部科学省「就学援助制度について」 (<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/017.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/017.htm</a>) 2013年10月17日引用。</li> <li>・資料②:「奨学金の案内」, 田主丸病院『看護師育成奨学金制度のお知らせ』 (<a href="http://www.seihoukai.or.jp/info/2011/1122_post_49.html">http://www.seihoukai.or.jp/info/2011/1122_post_49.html</a>) 2013年10月17日引用。</li> <li>・資料③:「生活保護条例の記事」, 朝日新聞 2013年8月24日朝刊より引用。</li> <li>・資料④:「朝日訴訟の概要」: 第一学習社『高等学校 新現代社会』2012年(183 第一現社312) p.56より引用。</li> <li>・資料⑤:「生活保護の条件見直しについての意見」, 執筆者作成。</li> </ul>
<p><b>主要参考資料</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青砥恭『ドキュメント高校中退ーいま, 貧困がうまれる場所ー』ちくま新書, 2009年。</li> <li>・岩田正美『現代の貧困ーワークンギブア/ホームレス/生活保護ー』ちくま新書, 2007年。</li> <li>・岡部卓『生活と福祉[臨時増刊号]第512号 福祉事務所ソーシャルワーカー必携 生活保護における社会福祉実践』全国社会福祉協議会, 1998年。</li> <li>・橘木俊詔・迫田さやか『夫婦格差社会 二極化する結婚のかたち』中公新書, 2013年。</li> <li>・三浦展『格差が遺伝する! 子どもの下流化を防ぐには』宝島社新書, 2007年。</li> </ul>

